

技能を修得せしめ、その資質の向上をはかり、もって県下青年団体の健全育成に資する。

- (2) 期日 41.11.16～19
- (3) 会場 耶麻郡猪苗代町 国立磐梯青年の家
- (4) 講師
 日本産業開発青年協会理事 寒河江 善 秋
 県立会津高等学校長 田 中 平 作
 福島県社会教育委員 今 泉 正 顕
 郡山市立湖南公民館長 勝 又 克 伊
 石川町議会事務局長 長谷川 慶 信
 平田村教育委員会社会教育主事 塩 田 義 男
 国立磐梯青年の家職員、県教育庁社会教育課員
- (5) 参加者 市町村教育委員会より推せんされた青年団体幹部、青年グループリーダーおよび市町村教育委員会青年教育担当者 50名
- (6) 内 容
- ① 研修方法
 研修を分科会研修と全体研修に分け、講義、討議、演習を行なった。
- ② 講 義
- ア. 団体活動の意義と組織運営の原則について
 イ. 団体幹部指導者の任務と責任について
 ウ. 団体活動の条件整備について
 エ. 団体活動の評価と記録について
 オ. 団体活動に必要な実技
 カ. 他の社会教育関係団体および機関との協力の問題
- (7) 効果 参加者は団体運営の基本事項および指導の方法技術について体得し、団体活動に対する自信と意欲をたかめたので、よき指導者として今後の活動が期待される。

7 県青年学級生大会

- (1) 趣 旨
 県下市町村青年学級生代表が一堂に会し、共同生活をとおして研修、学習発表、交歓および当面する諸問題について研究協議を行ない、本県青年学級の振興に資する。
- (2) 期日 42.2.8～10
- (3) 会場 耶麻郡猪苗代町 国立磐梯青年の家
- (4) 講師 文部省社会教育局青少年教育課長石川智亮
- (5) 助言者 国立磐梯青年の家職員、福島県青年学級研究協議会委員、県教育庁社会教育課員および郡山・北会津教育事務所担当者
- (6) 参加者 青年学級生 1市町村4名(男女各2名) 勤労青年学校においては4名以内、引卒指導者、青年学級主事等 315名
- (7) 内 容
- ① 講義 「青年と学習」
- ② 学習テーマ「学習活動をたかめるためにはどのようにしたらよいか」
- ア. 私たちに欠けているものは何か。
 イ. 私たちが学びたいものは何か。
 ウ. これからどのような方法で学ぶべきか。
 エ. 学習したことを生活に生かすためにはどのように工夫が必要か。

部会研究は学習体験発表を参加者全員できたいうえ、8部会を構成、共通テーマで研究討議を行なった。

- ③ レクリエーション交歓、雪の芸術祭、キャンドルサービス、ブロック対抗ゲーム
- ④ 学習体験発表 各教育事務所管内代表1名 計16名
 発表上位入賞者
 近代農業にいとむ学習と実践
 船引勤労青年学校 佐藤 幸子
 キャップ学習で農村社会を考える
 須賀川市農業青年学級 渡辺 力
 生徒会活動を通じて 鮎川村青年学級 水野 一美
 青年学級とサークルの協力について
 福島市公民館青年学級 長尾 朋子
 東和町農業専修学園の現状と問題点
 東和町農業専修学園 高橋 正弘
 私の体験から 古殿町青年学級 酒井 忠男
- ⑤ 機関紙、機関誌コンクール 各青年学級、勤労青年学校よりだされた、機関紙(誌)について展示し、優秀機関紙(誌)を表彰した。
- (7) 効果 本年度増築し、400名収容できるようになった青年教育の殿堂、国立磐梯青年の家を会場として実施した結果、快適な環境により研究討議も深まり、自由交歓もでき予期以上の成果を得ることができた。参加者は各学級のリーダー的立場にある者で、部会研究はそれぞれの学級の事例をもととして熱心に討議されたので、今後の学習活動を進めるために大いに役立つものと思われる。

8 県研究青年学級の委嘱

- (1) 趣 旨
 勤労青年教育における青年学級の果す役割の重要性にかんがみ、効果的青年学級の開設運営の方法について、継続的に研究し、その成果について資料の提供等を求め、もって本県青年学級の充実振興方策の検討の資とする。
- (2) 委嘱青年学級
- | 教育事務所 | 委託教育委員会 | 研究学級名 |
|-------|------------|---------------|
| 信 夫 | 福島市教育委員会 | 福島市中央公民館青年学級 |
| 郡 山 | 郡山市教育委員会 | 安積農業専門学院 |
| 北 会 津 | 会津若松市教育委員会 | 会津若松市第4青年学級 |
| 岩 瀬 | 須賀川市教育委員会 | 須賀川市農業青年学級 |
| 石 川 | 古殿町教育委員会 | 古殿町農業青年大学 |
| 田 村 | 三春町教育委員会 | 三春町中央青年学級 |
| いわき | いわき市教育委員会 | いわき市小名浜中央青年学級 |
| 双 葉 | 楡葉町教育委員会 | 楡葉町女子青年学級 |
- (3) 研究課題 次にかけられる研究課題の1以上について具体的な資料がえられるように研究を実施する。
- ① 共通課題 各学級における学習課程の編成について
- ② 個別課題
- ア. 各種学級における学習課程の編成について
 イ. 学習意欲をたかめる学習方法について
 ウ. 青年学級における可能な実験実習の研究について
 エ. 青年学級におけるクラブ活動、生徒会活動について
 オ. 生活指導について
- (4) 研究委嘱費 1学級2万円 8学級分
- (5) 効果 前年に引きつづき、上記課題で研究を行なったが学習課程の編成、学習方法、生活指導について具体的な資